

水産海洋地域研究集会

第 26 回熊野灘の漁業を考える 「～漁業による地域の活性化～」

日 時：2017 年 2 月 18 日（土）13:00～17:00（受付 12:30～）

場 所：尾鷲市中央公民館 3 階講堂（尾鷲市中村町）

共 催：一般社団法人水産海洋学会，熊野灘漁業を考える会，三重県水産研究所，尾鷲市

コンビーナー：伊藤宣毅（考える会），山川 卓（東大院農），津本欣吾，水野知己（三重水研）

【プログラム】

1. 挨拶：和田時夫（一般社団法人水産海洋学会長） 13：00～13：20
伊藤宣毅（考える会代表）
2. 趣旨説明：遠藤晃平（三重水研） 13：20～13：30
座長：津本欣吾（三重水研），水口忠久（考える会）
3. 基調講演
「儲かる漁業の実現による地域社会と企業の共通価値の創造(仮)」 13：30～14：20
小野博行（尾鷲物産株式会社）
4. 話題提供
(1)「漁場と都市をむすぶ取組～おさかなの森～」 14：20～14：45
森 鐘一（モリエコロジー株式会社）

(休憩) 14：45～15：00

座長：水野知己（三重水研），藤田弘一（伊勢水産室）
(2)「I ターン者から見た漁村と定置網漁業」 15：00～15：25
中井恭佑（(株) 早田大敷），竹内大介（尾鷲市），
中西尚文（尾鷲水産室）
(3)「つながることから始まる豊かな漁村づくり」 15：25～15：50
浅尾大輔（鳥羽磯部漁協）
(4)「儲かる魚類養殖業を推進する技術開発」 15：50～16：15
青木秀夫（三重水研）
5. 総合討論
座長 山川 卓（東大院農），津本欣吾（三重水研） 16：15～17：00

開催趣旨：三重県南部地域では，基幹産業である漁業の収益性悪化や漁業者の高齢化が深刻であり，このまま後継者不足が進めば漁業の衰退を招き，地域の社会的機能の喪失が危惧される．こうした状況の中，漁業者をはじめ，企業や周辺自治体においても，地元の豊かな水産資源を活かした 6 次産業化やコスト削減による儲かる漁業の推進，流通改革，ブランド産品による地元水産物の高付加価値化，担い手や雇用対策など，様々な漁業・漁村の活性化対策を模索している．本研究集会では，地域の漁業・漁村の活性化に関わる様々な主体の取組を踏まえ，漁業者，行政担当者，研究者等の関係者間で情報共有を図るとともに，漁業を核とした県南部地域の活性化策を検討する．